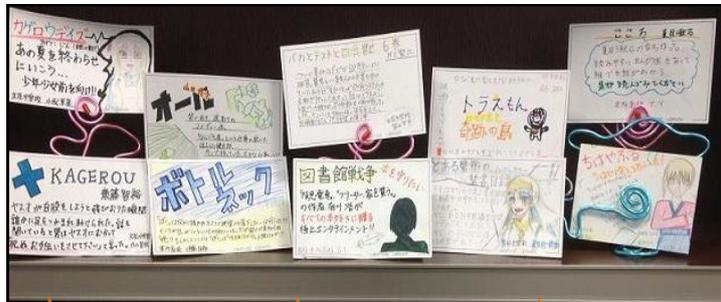


10代のための本棚

ていーんず情報誌 VOL.5



墨田区立図書館 2013年10月新

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

図書館物語 (第5話)

S「なんだ、ここだよ！」
 T「へえ～、わりと両国駅から近かったね♪」
 今日のTとSは・・・どこに来ていると思う？
 勉強とデートが両立できる場所！それは“図書館”
 二人はHPを見て緑図書館にやって来たのである。
 S「さてと、ティーンズコーナーはどこにあるかな？」
 緑図書館は3階建。2階の右奥コーナーに行くと…
 T「カワイイ！！緑図書館のティーンズコーナーって
 センスいいねえ～。特集の棚もあるし」
 S「図書館って、どこも同じじゃないんだな」
 T「そういえば、さっきの空き地に北斎美術館が建つ
 んだって、知ってた？」
 S「・・・北斎って何者ぢゃ？」
 T「浮世絵師よ。むかし、この近くに住んでたんだっ
 て。(たしか？アイツに教えてもらったことが…)」
 そうなんです！2015年オープン予定の“すみだ北斎
 美術館”が総武線を挟んで北側に建設されるんです。
 それにしても…Tは、よく知ってるね。何かヒミツが
 ありそうだ？そのヒミツは・・・第6話で
 ★葛飾北斎のコラムも読んでね(^^)

～ 墨田出身の北斎はクールジャパンの起源？ ～

近年、**クールジャパン**と呼ばれ、海外から注目されている日本の**マンガ・アニメ**などのポップカルチャー。そんなクールジャパンの起源は、墨田ゆかりの、あの**葛飾北斎**？！(ﾟoﾟ)

今、改めて注目されている葛飾北斎(1760年～1849年)は、江戸時代後期の**浮世絵師**。日本の美しい風景を独特のタッチで描いた「**富嶽三十六景**」は、世界的にも非常に有名です。**ゴッホ**などのヨーロッパ印象派にも多大な影響を与えたと言われ、世界中でも最高の画家の一人として、絶大な評価を得ています。

そんな北斎の作品に「**北斎漫画**」というものがあります。漫画！江戸時代にすでにこの言葉があったんですね。もちろん、今のマンガとは違い、むしろスケッチに近いもの。「北斎漫画」も膨大な数のスケッチ画集という感じです。その内容は、人物、動植物、妖怪まで及び、数は**約4,000点**にものぼります。この「北斎漫画」が有名になったことで、漫画という言葉が広がっていった側面もあり、今のマンガ文化の始まりとも言えます。

そして、北斎は浮世絵師。ここでも、今のマンガ・アニメのようなフィクションを楽しむ文化とのつながりが見えてきます。というのも、浮世絵の「**浮世**」という漢字の語源は、「**世から浮いてい**る」、つまり非現実でフィクションであるという意味です。そういうものを楽しむ文化が昔からあったことに驚きますね。

また、「浮世」の別の語源として「**暮き世(暮うつな世の中)**」というものもあります。つらくて憂うつな世の中のはときは、現実を肯定して前向きに生きようという姿勢から、コミカルな浮世絵が広く庶民に親しまれた、という説もあるそうです。

現代の日本文化にも脈々とつながっている北斎の魅力。クールジャパンと葛飾北斎。このテーマはなかなかおもしろいと思うので、興味のある方は、ぜひもっと深く調べてみてくださいね(^^♪)

職場体験の中高生がPOPを作ってくれました！



ティーンズのナマの声がここに！ひきふね&緑図書館TSコーナーに飾ってあるので、ぜひ見に来てね♪

紹介本の一部。ほかにもたくさんあるよ。

君に届け	下川香苗/著	集英社
人間失格	太宰治/著	集英社
ちはやと覚える百人一首	あんの秀子/著	講談社
図書館戦争	有川浩/著	角川書店
オール	山田悠介/著	角川書店
カゲロウデイズ	じん(自然の敵P)/著	エンターブレイン
キノの旅	時雨沢恵一/著	アスキー・メディアワークス
とある魔術の禁書目録	鎌池和馬/著	アスキー・メディアワークス

TSホームページにPOPの詳細を掲載しています。TS担当では今後もPOPを募集する予定ですので、そのときはぜひオススメ本を紹介してください！



いくつ分かる? 名作のイントロ

中江 有里 / 監修 明治書院 2013

テーマ別に名作のイントロを紹介。物語の書き出しには作家の魂がこもる?! 過去の有名作家たちが悩み抜いて書いた、名作の冒頭を要チェック!



新潟のおせんべい屋さんが東京の女子中学生にヒット商品づくりを頼んだらとんでもないことが起こった!?

ROCKGIRLS/編著 + ツッコミ役/澤本 嘉光 かんき出版 2012

東京の中学生が、新潟のおせんべい屋さんとコラボ商品開発に取り組んだ! 2年にも及んだ生徒と社員の共同作業の軌跡を、それぞれの視点からドキュメントした1冊。プロジェクトに関わったすべての人たちの成長、感動、情熱がリアルに伝わります。



孤独な天使たち

ニコロ・アンマニーティ / 著 中山 エツコ / 訳 河出書房新社 2013

他人に共感できない孤独な14歳の少年ロレンツォ。家族に旅行に行くとき自宅の地下室で自由な1週間を過ごそうとするが、そこに義姉が舞い込んできたことにより、自分の殻を破り成長するキッカケをつかむ。



鶏が鳴く

波多野 陸 / 著 講談社 2013

バンド仲間の健吾が高校に来なくなって2ヶ月あまり。おさななじみの伸太は、深夜に健吾の家を目指す。第56回群像新人文学賞受賞作品です。



微生物ハンター、深海に行く

高井 研 / 著 イースト・プレス 2013

未知の生物を探するため深海に潜る。生物の起源を追い求めて。青年がJAMSTEC(海洋研究開発機構) 科学者になるまでと、エネルギーシユな研究の様子が綴られています。



Twitter宇宙講座

マークス・チャウン/著 ホヴァート・シーリング/著 不二 淑子/訳 ブックマン社 2013

宇宙への疑問、質問に著名な天文ライターが答えてくれます。ツイッターで宇宙論を読めるなんて! 秋の夜空を見上げて...思わず、いいね! ってツイートしたくなります。



日本国憲法を口語訳してみた

塚田 薫 / 著 幻冬舎 2013

「どんな考えでも、それはお前の考えなんだから、大事にされるよ。」(本文28p)は、第19条【思想及び良心の自由】の口語訳。「憲法がさらにもっとよくわかる」厳選コラムもあります。



夢を跳ぶ

佐藤 真海 / 著 岩波書店 2008

「神様はその人に乗り越えられない試練は与えない」この言葉を支えに、新たな希望を見つけ、チャレンジし続けるアスリート。オリンピック・パラリンピック招致のプレゼンターを務めました。

考える力を育てよう

考える力は生きていく力。受け身の知識を増やしていくだけでなく、自力で考えることのできる人間となるためのヒントをくれる...そんな本を集めてみました。

- 考えるとはどういうことか 外山滋比古/著 集英社インターナショナル
- まんが哲学入門 森岡正博+寺田にゃんこふ/著 講談社
- 君たちはどう生きるか 吉野源三郎/著 岩波文庫
- 僕は、そして僕たちはどう生きるか 梨木香歩/著 理論社
- 哲学大図鑑 ウィル・バッキンガムほか/著 三省堂
- ヘーゲルを総理大臣に! 小川仁志/著 講談社
- 史上最強の哲学入門 飲茶/著 マガジン・マガジン
- 自分はバカかもしれないと思った時に読む本 竹内薫/著 河出書房新社
- 哲学してみる オスカー・ブルニフィエ/著 世界文化社
- 14歳の君へどう考えどう生きるか 池田晶子/著 毎日新聞社
- 100の思考実験-あなたはどこまで考えられるか- ジュリアン・バジーニ/著 紀伊国屋書店
- 僕とツンデレとハイデガー 堀田純司/著 講談社



- サウンド・オブ・サイレンス 五十嵐貴久/著 文藝春秋
- 2.43 壁井ユカコ/著 集英社
- キアズマ 近藤史恵/著 新潮社
- ラブオールプレー 小瀬木麻美/著 ポプラ社
- ボックス!上・下 百田尚樹/著 太田出版
- スタンダップダブル! 小路幸也/著 角川春樹事務所
- 青森ドロップキッカーズ 森沢明夫/著 小学館
- アイアンマン クリス・クラッチャー/作 ポプラ社
- ラスト★ショット ジョン・ファインスタイン/作 評論社
- あねチャリ 川西蘭/著 小学館
- 頼むから、ほっといてくれ 桂望実/著 幻冬舎
- 快晴フライング 古内一絵/著 ポプラ社